

【エリアのコンパス(羅針盤)～あなたの進路】

10年後のあなた

あなたは、10年後の自分をイメージすることができますか。
どこで、誰と、何を思い、何をしているのでしょうか。

イメージすることの大切さ。それは自分の夢を実現させる第一歩です。
イメージが、あなたを引っ張ります。

みどり清朋高校は、あなたの興味や関心を深め、進路実現をできる力を
育てる学校です。

未来に向かって進むのはあなたです。夢の実現目指してチャレンジしま
しょう。

私たちは、そんなあなたを全力でサポートします。

みどり清朋高校 校長：久木元秀平

わたしたちの学校は、普通科総合選択制の高校です。

◎ 普通科総合選択制の理念

基礎学力を重視しながら、生徒一人ひとりの興味・関心にあった学習をとおして、進路実現の力をはぐくむ

◎ 1年生では、全員が同じ教科・科目を学びます。(芸術は選択)

◎ 2年生から、自分の興味・関心に応じて選択した「エリア」に所属します。

エリアとは …… 学ぼうとする分野のきっかけづくりや入門的な内容の科目をまとめたもの

理数・自然科学エリア	情報・表現エリア	スポーツエリア
保育・福祉エリア	国際文化エリア	人文エリア

○エリアの選択は1年次に行います → 6月：予備調査、10月：本調査

○一度決めたエリアの変更はできません → 3年次も2年次と同じエリアに所属。

○エリアの選択や自由選択科目の決定のために、ガイダンス（説明・相談など）を行います。

【今年度のガイダンスの予定】

4月21日（木）5限	総合選択制（エリア）の全体説明など
5月26日（木） 考査終了後	6エリアの説明（各エリア約15分）
5月28日（土）	保護者対象のエリア選択説明会
6月 2日（木）5・6限	希望するエリアの説明（エリアごとに開催）
6月の保護者懇談週間中	エリア及び自由選択科目の選択について相談
6月末ごろ	予備調査（エリアと2年次の自由選択科目の希望）
10月末ごろ	本調査（希望エリアと2年次の自由選択科目）

○ 学ぶ科目

○学校必修科目 …… 全員が共通して学ぶ科目

2年生：8科目（19単位） 3年生：4科目（10単位）

週に1時間授業を受けると1単位になる。

○エリア指定科目 …… 各エリアの生徒が必ず学ぶ科目

2年生：2～3科目（4単位） 3年生：2科目（4単位）

注意：エリア指定科目は、エリアに所属する生徒は全員が学びます。

○自由選択科目 …… 個々の興味・関心や進路希望に応じて選択して学ぶ科目

2年生：3科目（6単位） 3年生：6～8科目（14～15単位）

注意：自由選択科目は、エリアと関係なく希望に応じて選択できる科目ですが、次のような制約もあり、まったく自由に選択できるものではありません。

- ・科目の選択（受講）希望者が少ない場合は、開講できません。
- ・科目によっては、選択できるエリアが設定されている場合があります。
- ・選択する科目を、一部指定しているエリアがあります。

なお、自由選択科目については、いくつかの科目ずつのグループに分け、それぞれのグループの中から1科目ずつ選択することになります。

☆エリアや自由選択科目の選択にあたって☆

「自分が学びたいエリア（または科目）を選択する」ということを大切にしてください。

また、希望の進路を実現するために、「学ばなければならない科目を選択することも必要です。

エリアや自由選択科目の選択については、自分でよく考えることが一番ですが、保護者や先生方とも相談しましょう。自分の夢の実現に向けて、踏み出しましょう。

I 普通科総合選択制とは

1 みどり清朋のカリキュラム

下の表は、あなたたちが3年間にうける授業を表したものです。太枠で囲ったところがエリア指定科目、マス目に色がつけてあるところが、自由選択科目です。

	1年	2年	3年
1	国語総合	現代文	現代文
2			
3		世界史A	日本史A/日本史B/ 地理A/数学C
4			
5			
6	現代社会	日本史A/日本史B /地理A	体育
7			
8	数学I	数学II	リーディング
9			
10	数学A	化学I	エリア指定科目
11			
12	理科総合B	体育	
13			
14	保健	自由選択科目	
15			
16	英語II		
17			
18			
19	芸術I		
20			
21	オールコミュニケーション		自由選択科目
22			
23	英語I		自由選択科目
24			
25	家庭基礎	自由選択科目	
26			
27	情報A	自由選択科目	
28			
29	総合的な学習	総合的な学習	総合的な学習
30	総合的な学習	総合的な学習	LHR
31	LHR	LHR	選択7限
32	キャリアデザイン	キャリアデザイン	

この表を見ると、エリア指定科目、自由選択科目の時間がけっこう多いことに気がつきます。なぜこのような選択の多いカリキュラムになっているのでしょうか。普通科総合選択制に鍵がありそうです。

2 普通科と普通科総合選択制

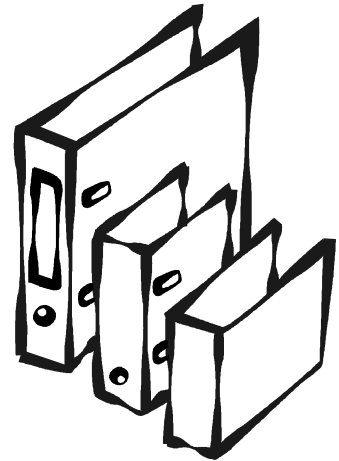
普通科高校とは普通の高校という意味ではありません。卒業後に就職を目指す商業科や工業科などの専門学科とは異なり、さまざまな進路に対応できる学科という意味で使われています。さまざまな進路とは、就職・進学等、なんであれ対応するということです。とはいっても、大学や専門学校への入学準備や、就職後の会社で必要になる一般知識・社会常識を学ぶことが中心となるため、普通科高校では国・社・数・理・体・芸・英・家・情のような普通科目に重点を置いています。

多くの普通科高校では、大学入試に応じて理系や文系に分けています。またその高校独自の専門コースを設けているところもあります。理系と文系の区別は、勉強する科目を、数学や理科に重点を置くか、国語や社会に重点を置くかの違いですが、専門コースは、福祉や保育などの「専門科目」を一部取り入れています。ちなみに4年制大学への進学には英語が不可欠なので、理系・文系とも英語は重点科目です。

これに対して、普通科総合選択制とはどういうものでしょうか。普通科としての大枠はそのまま（つまり普通教科の科目を中心に）、生徒一人ひとりの興味・関心・進路・適性に応じた選択科目を大幅に増やした点にあります。そのために、先生の増員や施設・設備の充実などの、特別な配慮がされています。

普通科総合選択制では、通常の普通科高校と違って選択科目が大幅に増えているわけですから、お仕着せの授業を受けていればそれでいい、というようにはいきません。授業を受ける生徒の側にも、「私は何を勉強したいのか」という問いが常に迫られているものだといえるのでしょう。

とはいっても、適切な科目を選択することはそんなに簡単なことではありません。そこで、普通科総合選択制の高校に設けられているのが「エリア」という仕組みです。これについて説明しましょう。



3 エリアとエリア指定科目

単に多くの選択科目をおくだけでは、どれを選んだらいいのか迷いかねません。そこで、多くの科目を選択できるようにするだけでなく、興味関心・進路・適性ごとに選択科目を



まとめることで、効果的な学習ができるように創意工夫することが必要になります。それがエリアです。みどり清朋高校では、「理数・自然エリア」、「情報・表現エリア」、「スポーツエリア」、「保育・福祉エリア」、「国際文化エリア」、「人文エリア」の6つのエリアが設けられています。

エリアを選ぶと、自動的に**エリア指定科目**を勉強することになります。エリア指定科目は、進路に対応するとともに、興味や関心に応え、適性などを深める科目群で構成されています。たとえば、理数・自然科学エリアの2年次のエリア指定科目である数学Ⅱ（2単位）は、必修科目の数学Ⅱの2単位に加えて合計4単位を学習することになり、より深く数学Ⅱを勉強できます。エリア指定科目を学習することにより、関心を高めていくとともに、進路などについても深く考えていくことができるでしょうし、自分の適性の再確認もできるでしょう。

第1学年ではみんながほとんど同じ授業を受けていますが、第2学年からはエリアに所属して学習していくことになります。また、**第2学年で所属したエリアは第3学年でも継続して所属すること**になっています。そのため、エリアを選択することは高校3年間の学校生活だけでなく、その後の進路を決める非常に重大な決定になります。

4 学校必修科目と自由選択科目

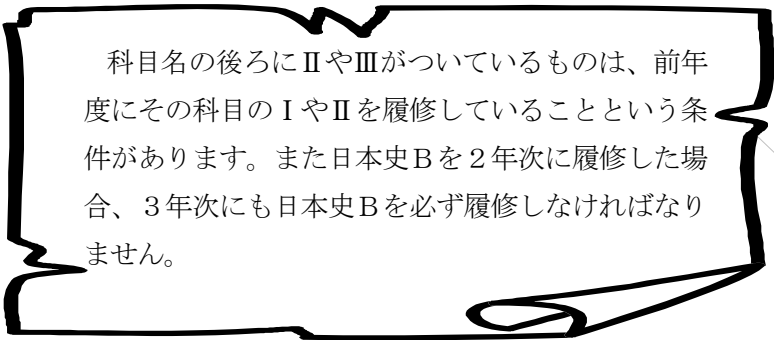
学校必修科目は全員が必ず勉強する科目です。1年生の科目はほとんどが学校必修科目ですが、2年、3年ではだんだん減ってきます。学校必修科目は、“みどり清朋高校生ならば、少なくともこの科目は全員学習してほしい”という基本的な科目で、エリアに関係なく全員が履修する科目のことです。

少し複雑なことですが、学校必修科目にも選択が設けてあります。2年次の社会は、日本史A・日本史B・地理Aから1科目選択することになっています。また3年次では同じく、日本史A・日本史B・地理A・数学Cから1科目選択します。

これらはこの科目の中から選択するわけです。なお、2年と3年で同じ科目は選択できません。

自由選択科目は、所属のエリアに関係なく自由に選択できる科目で、次のような特徴があります。

- エリアの学習をさらに深めるための科目があります。
- 自分が選択したエリア関連以外の、別のエリア関連の科目も選択できます。
- 大学入学試験に向けて特に強化してあるのは、国語・社会・数学・英語において、“演習”という名前がついている科目群です。
- 芸術系、保育系、福祉系、外国語系などの、特定の大学を受験するための科目群があります。これはエリアと密接に関係していますから、エリアの学習をさらに進める科目と重なっています。
- 大学・専門学校などの推薦入試・面接試験に対応する科目があります。これも、エリアと密接に関係しています。
- 具体的な課題を通して実践的な基礎学力を高めるための科目があります。「時事社会」、「実習理科」、「幼児体育」、「音楽鑑賞」、「実用書道」、「スクリーン英語」……
- 社会的関心の高い事柄に実践的に応える科目や、生涯学習を見越した基礎的教養のための科目も用意されています。



科目名の後ろにⅡやⅢがついているものは、前年度にその科目のⅠやⅡを履修していることという条件があります。また日本史Bを2年次に履修した場合、3年次にも日本史Bを必ず履修しなければなりません。

5 エリアと選択科目の決定



2年から所属するエリアによって高校生活は大きく変わってきます。それを最終的に決めるのは1年生の10月。2年の所属エリアはそのまま3年に継続されます。エリアによってエリア指定科目も違い、一部の自由選択科目にも制限があります。これから、ホームルームや「総合」の時間を利用して、エリアのガイダンスを受けたり自分の進路を考えたりして、まずエリアを決めていくことから始めます。

次に2年での自由選択科目を決めますが、エリア指定科目との連続性を考える必要があります。また2年生と3年生で継続性のある選択科目もあるので、細かな授業計画の設計が必要です。そのためには、自分自身の進路目標をしっかりと決めておく必要があります。そ

の進路目標に基づいて、所属するエリアを決定していくことになるでしょう。

<<エリア選択例>>

進路目標から	工学系大学希望	⇒	理数・自然科学エリア
	医療（医歯薬）系希望	⇒	理数・自然科学エリア
	看護系の大学希望	⇒	理数・自然科学エリア
	看護師の専門学校希望	⇒	人 文 エ リ ア
	一般入試の文系の大学希望	⇒	人 文 エ リ ア
	情報系・芸術系の大学希望	⇒	情報・表現エリア
	英語・英文系の短大希望	⇒	国際文化エリア
	事務系公務員を希望	⇒	人 文 エ リ ア
	体育系の大学を希望	⇒	スポーツエリア
	福祉系の大学を希望	⇒	保育・福祉エリア
	保育系の大学短大を希望	⇒	保育・福祉エリア
適性から	数学・理科が得意	⇒	理数・自然科学エリア
	コンピュータが得意	⇒	情報・表現エリア
	英語・国語・社会が得意	⇒	人 文 エ リ ア
	小さい子どもが好き	⇒	保育・福祉エリア
	英語が得意	⇒	国際文化エリア
興味・関心から	情報やコンピュータに関心	⇒	情報・表現エリア
	理科が好き	⇒	理数・自然科学エリア
	歴史が好き	⇒	人 文 エ リ ア
	芸術（音楽・美術・書道）に興味	⇒	情報・表現エリア
	国際交流に関心	⇒	国際文化エリア
	保育・福祉に興味	⇒	保育・福祉エリア
	スポーツが好き	⇒	スポーツエリア

<<入試教科の目安>>

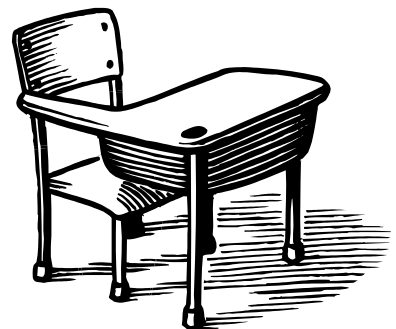
	理系 一般入試	理系推薦入試	文系 一般入試	文系 推薦入試
国公立大学	5教科全部		5教科全部	
難関私立大学	数・理・英	数・理・面 or 数・英・面	国・社・英	国・英・面
中堅私立大学	数・英 or 数・理	数・面	国・英	英・面
短期大学	数	数・面	英 or 国	国・面

- ①上の表はあくまで目安です。短期大学でも2教科や3教科を出題するところもあります。上の段に行くほど科目数が増え、一般入試は科目数が多いという傾向があります。
- ②大学の種類によらず、英語は入試科目の中心になっています。
- ③各教科の中での科目の詳細は、大学によって様々なパターンがあります。たとえば数学といっても、数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数Cのどれを出題するかは大学ごとによって異なります。
- ④専門学校は短期大学程度と考えてください。ただし、分野や学校によって差が大きいので注意が必要です。
- 医療系の専門学校は、難関私立大学の理系または中堅私立大学の理系と同様と考えられます。
 - 看護系の専門学校で、難関校は私大理系と同様の傾向があり、中堅校は私大文系と同様の傾向があります。

☆難関大学を目指す人は、入試の教科・科目を意識してエリアを選択しなければなりません。自由選択科目も、入試に対応する科目を選択しなさい。

☆中堅私立大学、短期大学などを目指す人は、自分の適性や興味・関心を優先してエリアを選択すればよいでしょう。

☆就職を目指す人は、どのエリアでも対応できます。



Ⅱ 6つのエリア

1 各エリアの目標



理数・自然科学エリア

数学や理科に対する興味・関心を深め、科学的な洞察力や数学的な思考力を高めるとともに、柔軟な思考力と創造的な能力をはぐくむ。

- ・地域の豊かな自然を活用し、実習や観察、実験等を通して、自然科学に対する興味・関心を高めるとともに、科学的な自然観を育成する。
- ・大学や地元の企業等での体験的な学習や講演等を通して、先端の技術や研究にふれ、科学的な見方や考え方を養う。
- ・数学や理科に関する演習に幅広く取り組み、科学的な思考力を養い、応用力を高める。

情報・表現エリア

I C Tの活用や芸術を通して自己表現をし、感性を高め、創造性豊かな生徒の育成を図る。

- ・エリア内で情報分野と芸術分野の科目を選択し、学習できるようにする。
- ・学習の成果を Web ページの形で表し、それを相互評価することによって、お互いの表現力を高め合う。
- ・実習を通して、現在の社会を支えている情報通信・デジタル技術の初歩を学び、理解を深める。デジタル技術が実際にどのように応用されているかを学び、情報工学の理解を深める。
- ・身近な生活の中での芸術的創作を行うことにより、生涯にわたって創造的活動に取り組む姿勢を養う。

スポーツエリア

スポーツと健康に関する幅広い基礎知識を学ぶとともに、将来にわたってスポーツを愛好する態度を育てる。また、スポーツ活動を通して、社会性に富み、リーダー性を発揮できる生徒の育成を図る。

- ・スポーツが人々の生きがいや交流に大きく寄与するものであることを理解し、指導者として地域や社会におけるスポーツ活動に貢献できる資質を養う。
- ・スポーツ活動を通して自己の可能性に絶えずチャレンジする態度を育てる。
- ・レクリエーションなどを学び、人間どうしのふれあいを通して思いやりや優しさの精神を養う。

保育・福祉エリア

保育・福祉について基礎的な知識や技術を学び、少子高齢化が進む中で豊かな社会生活を営むための資質を養う。

- ・地域の保育所や社会福祉施設等との交流を進め、実習や体験的な学習を通して人と人との接し方を学ぶとともに、日常生活で役立つ保育や福祉に関する実践的な能力を育成する。
- ・社会人等による授業サポートなど外部の人材活用を進める。
- ・地域の保育所や社会福祉施設等の活動に参加し、サポートする態度を育てる。

国際文化エリア

国際化の進む社会の中で、相互理解を図ることができるようにコミュニケーション能力を養う。また、世界の文化を学ぶことを通して、国際感覚豊かな生徒の育成を図る。

- ・日本の文化のみならず、諸外国の文化を理解し、尊重する態度を育てる。
- ・身近な異文化として、アジアの言語や文化について学び、交流を図る。
- ・言語やジェスチャーなど様々な方法で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を養う。
- ・情報機器や図書館等を活用して、諸外国の事情や文化について調査、研究し発表する機会を設ける。

人文エリア

歴史や文学等の学習を通して、人類が築きあげてきた文化について理解を深めるとともに、広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察し、行動する能力を養う。

- ・文学や歴史に広くふれ、それぞれの時代の人々の生き方や在り方を学ばせる。
- ・英語の学習を通して、日本や世界の文化への幅広い関心を高める。
- ・身近にある遺跡や博物館等の施設を活用して、フィールドワークや体験的な学習を行い、地域の歴史や文化について理解し、地域を大切にすることを育てる。

Ⅲ. エリア指定科目

1 エリア指定科目の一覧



エリア セクション	理数・ 自然科学		情報・表現				スポーツ	保育・福祉		国際文化	人文							
	情報	音楽	美術	書道	保育	福祉												
2年	1	数学Ⅱ	Webデザイン				競技 スポーツ Ⅰ	子ども福祉	ツール イングリッ シュ Ⅰ	ライティ ング								
	2																	
	3										専攻 スポーツ 障がい者ス ポーツとレク リエーション	発達と 保育	アジアの 言語と文化	日本史探究				
	4														書道Ⅱ	基礎介護		
3年	1	数学Ⅲ	プログラム ミング 入門	音楽Ⅲ	美術Ⅲ	書道Ⅲ	競技 スポーツ Ⅱ	対人援助と コミュニケーション	ツール イングリッ シュ Ⅱ	英語探究								
	2																	
	3										制御工学	専攻音楽	専攻美術	専攻書道	スポーツ 理論と トレーニング	社会福祉 実習	日本と世界 の文化	国語探究
	4																	

2 エリア指定科目の詳細



エリア指定科目は、特に説明がある科目を除き、各エリア（またはセクション）に所属する生徒は必ず学習しなければなりません。また、単位数が示されていない科目は、すべて2単位です。



理数・自然科学エリア

数学Ⅱ …………… 2年の科目。 2年生全員が学習する範囲以外の残りの内容を学習する。必修科目の数学Ⅱ（2単位）に加えて、数学Ⅱは全部で4単位になる。これにより数学Ⅱの内容をすべて2年生で終了する。
生物Ⅰ …………… 2年の科目。生物Ⅰまたは物理Ⅰどちらかを選択。 生物Ⅰでは、生物や生物現象に見られる細胞、生殖、遺伝、環境と動植物の反応などの共通の特性を学び、生命について考える。また実習や問題演習も行い、自然科学的な考え方を身につける。
物理Ⅰ …………… 2年の科目。生物Ⅰまたは物理Ⅰどちらかを選択。 最新の科学技術を根底で支えているのが物理学である。物理Ⅰでは、日常身の回りにある物理現象（運動とエネルギー、光と音など）を実験や理論を通して学ぶ。自然の中に潜む法則性を探る中で、論理的な考え方が身につくようになることを目指す。実習や問題演習も行い、自然科学的な考え方を身につける。
数学Ⅲ …………… 3年の科目。 数学Ⅱで学んだことのうち、微分積分についてさらに深める。この科目は理数・自然科学エリア内では全員が履修するエリア指定科目であり、自由選択科目の数学Ⅲを必ず選択すること。さらに数学Ⅲ演習も選択するのが望ましい。
環境科学 …………… 3年の科目。 私たちの生活をとりまく環境と、科学技術との結びつきについて学習する。私たちの生活に関わる物質（食品・衣料・材料）や、生命に関わる物質（医薬品・肥料と化学）について化学的な観点から理解する。化学Ⅱとあわせて履修することが望ましい。



情報・表現エリア — 情報セクション

Web デザイン……………2年の科目。

まったくのゼロから Web ページ作成のための基本的な知識及び技術が身につくように指導する。基本的な知識と技術を修得したあと、様々なツールの利用を利用して個性的な作品づくりをめざす。また Web ページを閲覧する側から見た Web ページの必要要件についても考察する。実習で作成した各人の作品を Web サイトに発表し、相互評価するなど実践的な力を身につける。

物理 I ……………2年の科目。

最新の科学技術を根底で支えているのが物理学である。物理 I では、日常身の回りにある物理現象(運動とエネルギー、光と音など)を実験や理論を通して学ぶ。自然の中に潜む法則性を探る中で、論理的な考え方が身につくようになることを目指す。実習や問題演習も行い、自然科学的な考え方を身につける。

プログラミング入門…3年の科目。

簡単なプログラム言語を用いて、手続き型プログラミングの根底にある if 文や、ループ文などの概念をつかむことに重点を置く。

制御工学……………3年の科目。

自律走行型ロボットの意匠デザインや組み立て及び制御プログラムの作成を行い、それぞれの走行性能を競い合うことなどによって制御工学の基礎を学ぶ。

情報・表現エリア — 音楽セクション

Web デザイン……………2年の科目。

まったくのゼロから Web ページ作成のための基本的な知識及び技術が身につくように指導する。基本的な知識と技術を修得したあと、様々なツールの利用を利用して個性的な作品づくりをめざす。また Web ページを閲覧する側から見た Web ページの必要要件についても考察する。実習で作成した各人の作品を Web サイトに発表し、相互評価するなど実践的な力を身につける。

音楽Ⅱ……………2年の科目。

歌唱、器楽、鑑賞の各領域について音楽の内容を発展させ、深める。また読譜力を身につけ豊かな表現と積極的に音楽を楽しむ姿勢を養う。

音楽Ⅲ……………3年の科目。音楽セクションの指定科目。

音楽Ⅰ、音楽Ⅱの内容をさらに深める。歌唱・器楽の各課題に対し、より高いレベルの音楽作りと個人の力量を高めることをめざし、音楽を通じて自己表現する力を養う。

専攻音楽……………3年の科目。

音楽についてより発展的な内容を学習するとともに、各人の興味・関心に応じた創作活動や少人数でのアンサンブルを中心とした授業を展開することにより、より豊かな感性や表現力を養う。

情報・表現エリア — 美術セクション

Web デザイン…………… 2年の科目。

まったくのゼロから Web ページ作成のための基本的な知識及び技術が身につくように指導する。基本的な知識と技術を修得したあと、様々なツールの利用を利用して個性的な作品づくりをめざす。また Web ページを閲覧する側から見た Web ページの必要要件についても考察する。実習で作成した各人の作品を Web サイトに発表し、相互評価するなど実践的な力を身につける。

美術Ⅱ…………… 2年の科目。

作品制作を通して表現することの楽しさを感じ、イメージしたものを形にしていく技術を養う。実習費が必要。

美術Ⅲ…………… 3年の科目。

作品制作において、より完成度の高い作品作りを目指すとともに、芸術家の生き方や現代アートを学ぶことでより豊かな感性を養う。実習費が必要。

専攻美術…………… 3年の科目。美術セクションの指定科目。

芸術大学や専門学校の入試問題などを中心に、デッサンや構成などの美術表現力を養い、深める。実習費が必要。

情報・表現エリア — 書道セクション

Web デザイン…………… 2年の科目。

まったくのゼロから Web ページ作成のための基本的な知識及び技術が身につくように指導する。基本的な知識と技術を修得したあと、様々なツールの利用を利用して個性的な作品づくりをめざす。また Web ページを閲覧する側から見た Web ページの必要要件についても考察する。実習で作成した各人の作品を Web サイトに発表し、相互評価するなど実践的な力を身につける。

書道Ⅱ…………… 2年の科目。

歴史的な書体(篆書・隸書)を学ぶことによって、文字に対する興味・関心を高め、表現する喜びを体験する。書道Ⅰをさらに発展させる。実習費が必要。

書道Ⅲ…………… 3年の科目。

Tシャツ・ローケツ染め・パネル創作…他、さまざまな作品を完成させる。文字に対する興味・関心を高め、書を愛好する心情を養う。実習費が必要。

専攻書道…………… 3年の科目。

書道について、より発展的な内容を学習するとともに、各人の興味・関心に応じた創作活動を中心とした授業を展開することにより、より豊かな感性や表現力を養う。

スポーツエリア

競技スポーツⅠ …… 2年の科目。

各種目を通して自己に適した目標を定める。
運動の特性を理解し、集団的技能・個人的技能の向上を図る。
また、スポーツマンの公正な態度を養う。実習費が必要。

専攻スポーツ …… 2年の科目。

自分の得意種目を計画立案し技術の向上を図るとともに、その種目のおもしろさや楽しさを相互に伝え、指導者としての資質や能力を高める。

障がい者スポーツとレクリエーション …… 2年の科目。

障がい者スポーツの実践や障がい者スポーツセンターの訪問を通じて、ノーマライゼーションの精神を育む。また、レクリエーションの素晴らしさを学び、生涯にわたり運動に親しむ資質や能力を養う。実習費が必要。

競技スポーツⅡ …… 3年の科目。

「競技スポーツⅠ」を発展させ、創意工夫ができる能力・自主性等を養い、競技力の向上を図る。また、審判法についても学び、実践に役立てる。実習費が必要。

スポーツ理論とトレーニング …… 3年の科目。

運動を合理的・効果的に実施するためのスポーツ理論を学び、実践力を身につける。
また、各種のトレーニング方法を学び、基礎体力の充実に努める。実習費が必要。

保育・福祉エリア — 保育セクション

子ども福祉 …… 2年の科目。

少子化の進行、世帯構造や家族の機能の変化、地域社会の変容等、子どもの育つ社会環境の変化を理解し、子どもとその養育者への社会的支援について学ぶ。

発達と保育 …… 2年の科目。

家庭基礎で学んだ保育分野を発展させ、乳幼児の発育・発達を理解し、生活・遊びの大切さを学習します。実際に幼稚園や保育所を訪問し子どもたちとのふれあいを通して保育の楽しさを体験しましょう。実習費が必要です。

対人援助とコミュニケーション 3年の科目。

人と人とのコミュニケーション能力を高めるための基礎的な知識と技能を身につけるとともに、言葉によらない表現の方法や手話や点字など障がいのある人とのコミュニケーションについて学ぶ。

保育実習 …… 3年の科目。

「発達と保育」において学習した、乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術をもとに、近隣の保育所や幼稚園で実習を行い、子どもの健全な成長を図る能力を身につける。実習費が必要です。

保育・福祉エリア — 福祉セクション

子ども福祉…………… 2年の科目。

少子化の進行、世帯構造や家族の機能の変化、地域社会の変容等、子どもの育つ社会環境の変化を理解し、子どもとその養育者への社会的支援について学ぶ。

基礎介護…………… 2年の科目。

高齢者と障がい者の立場から介護の役割を理解し、介護に関する基礎的な知識と技術を習得し、介護を適切に行う能力と態度を身につける。また、自立生活するための支援、保健・医療・福祉の連携の実際についても学ぶ。実習費が必要です。

対人援助とコミュニケーション…………… 3年の科目。

人と人とのコミュニケーション能力を高めるための基礎的な知識と技能を身に付けるとともに、言葉によらない表現の方法や手話や点字など障がいのある人とのコミュニケーションについて学ぶ。

社会福祉実習…………… 3年の科目。

社会福祉施設の訪問見学や、利用者との交流、施設職員による講話などの体験的な学習を通して、実践的な知識・技術の習得を目指す。社会福祉施設の概要や提供されるサービスなどについても理解を深める。実習費が必要です。

国際文化エリア

ツールイングリッシュⅠ…………… 2年の科目。

英語をコミュニケーションのツール（道具）としてとらえ、リスニング・スピーキングの能力を育成し、積極的に会話を楽しむ。基本的な単語を活用し、また、ジェスチャー等を通して、自分の言いたいことを伝えるコミュニケーション能力を養う。簡単な時事英語の文章にも親しむ。

アジアの言語と文化…………… 2年の科目。

日本及び韓国・朝鮮、中国など、身近なアジアの言語や文化について学び、地域に在住する人々との交流もはかり、国際感覚を養う。

ツールイングリッシュⅡ…………… 3年の科目。

「ツールイングリッシュⅠ」を発展させ、単語だけで表現するのではなく、英文にするということを意識し、より楽しく自分の考えを表現できる英会話の力を養う。

日本と世界の文化…………… 3年の科目。

英語で書かれた文を読みながら、日本や世界の文化について研究する。またテーマを定めて、賛成・反対の意見を英語で読んだり発表したりする。

人文エリア

ライティング …… 2年の科目。

これまで学習してきた文法事項や単語・熟語の知識を活用して英語で文を書いてみる。身近なことを英語で表現することからスタートし、入試問題レベルの練習問題へと進んでいく。

日本史探究 …… 2年の科目。

日本の歴史的背景と地域的特色を理解する。とくに近現代史を中心として、古代～現代までの文化史などのテーマ史を学ぶ。

英語探究 …… 3年の科目。

「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」で身に付けた学習の成果を踏まえ、入試レベルの文法問題を中心に扱う。

国語探究 …… 3年の科目。

古今の名作を精読することで読解力・表現力を高める。また、日本文化の特色を学び、ものの見方・考え方を豊かにする。演習も適宜実施し、総合的な国語力の向上をめざす。



IV. 自由選択科目

1 自由選択科目の一覧



自由選択科目の選択に当たっては、以下の点に注意すること。

- 希望者が少ない科目の場合、開講しないことがある。
- エリア指定科目で受講する(した)科目は、自由選択科目で重複選択できない。ただし、理数エリアと情報・表現エリアの情報セクションの生徒は、エリア指定科目の物理Ⅰ・生物Ⅰと、自由選択科目の同科目の合計4単位を履修しなければならない。
- 2年と3年で、同一の科目を重複して選択することはできない。ただし、2年生で自由選択科目の日本史Bを選択した生徒は、3年生の学校必修科目と自由選択科目の日本史B(各2単位)の合計6単位履修しなければならない。
- 選択できるエリアが限定されている科目がある。これについては次ページ以降の科目の詳細を参照すること。
- 「自由選択科目」は、いくつかの科目ごとにグループに分け、各グループの中からそれぞれ1科目を選択することになる。

2年での自由選択科目(この中から3科目6単位を選ぶ)

教科	科目(すべて2単位)
国語	古典、現代文演習
地理歴史	日本史B
数学	数学Ⅱ、数学B
理科	物理Ⅰ、生物Ⅰ
体育	ライフスポーツ、競技スポーツⅠ
芸術	音楽Ⅱ、美術Ⅱ、書道Ⅱ、書造形、ソルフェージュ、素描
英語	実用英語、英文法
情報	マルチメディア表現
福祉	社会福祉基礎
文化と表現	プレゼンテーション入門

3年での自由選択科目（この中から6～8科目 14～15単位を選ぶ）

教科	科目（注記以外はすべて2単位）
国語	国語表現Ⅰ、古典、古典講読、国語読解力演習、漢文の世界 国語特別演習（1単位）
地理歴史	世界史B（4単位）、日本史B、地理B（4単位）、日本史演習、 世界史演習
公民	政治・経済、時事社会
数学	数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学C、数学Ⅲ演習、数学演習α、数学演習β、 数学特別演習（1単位）
理科	物理Ⅱ、化学Ⅱ、生物Ⅰ、生物Ⅱ、環境科学、実習理科
保健体育	ライフスポーツ、幼児体育、スポーツ理論とトレーニング
芸術	アンサンブル、音楽鑑賞、美術演習、生活デザイン、実用書道、 幼児芸術
英語	ライティング、言語理解、英語文化研究、Speaking、スクリーン英語、 英語読解演習、英語特別演習（1単位）
情報	情報C、Webデザイン、プログラミング入門、マルチメディア表現
家庭	発達と保育、フードデザイン、栄養
福祉	社会福祉援助技術、社会福祉実習、社会福祉演習
文化と表現	ハンゲル入門、中国語入門、プレゼンテーション入門

上に挙げた科目のほかに、夏休みに実施する「キャリアデザイン」（1・2年各1単位）を選択することができる。

キャリア デザイン	夏期特別講座。職場実習体験。 受講の募集は1年・2年とも1学期に行う。
----------------------	--

2 2年次での自由選択科目



国語

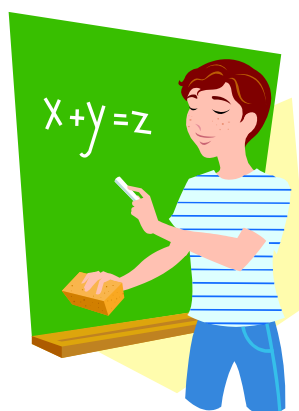
古典	1年次に学んだ国語総合古典分野での内容をさらに深めていく。多様な古文を読むことにより古典文学の世界に親しむ。また中国の古典を通じて、中国文化への理解を深める。
現代文演習	現代文の演習を通して、基礎的な語彙力・読解力を養成する。漢字の読み・慣用表現・ことわざ・故事成語・口語文法などについて理解を深める。また、意見文・感想文などを書く力をつける。

地理歴史

日本史B	日本の歴史的背景と地域的特色を理解する。とくに近現代史を中心として、古代～現代までの文化史などのテーマ史を学ぶ。3年での必修科目と自由選択科目をあわせて、計6単位選択することになる。
-------------	---

数学

数学Ⅱ (増加単位)	2年生全員が学習する範囲以外の残りの内容を勉強する。必修科目の数学Ⅱ（2単位）に加えて、数学Ⅱは全部で4単位になる。これにより数学Ⅱの内容をすべて2年生で終了する。 理工系大学等、受験で数学Ⅱが必要な場合は必ず選択すること。理数・自然科学エリア以外の生徒で、この科目を選択していない者は3年生で数学Ⅲを選択できない。
数学B	数の並び（数列）の規則性を発見して、それを一般的に表現し、またそれらの和を求める方法について学習する。さらに、物理的な量を表す手段として重要な考え方の一つである、ベクトルの性質やその応用について学ぶ。理数・自然科学エリアおよび、受験で必要な生徒は必ず選択すること。



理科

物理 I (増加単位)	エリア指定科目の物理 I では学習時間が足りないのでさらにもう 2 単位増加し、物理 I の内容をすべてカバーする。理数・自然科学エリアの生徒でエリア指定の物理 I を選択した者、および情報・表現エリアの情報セクションの生徒は、この科目を選択しなければならない。また、生物 I (増加単位)とは同時に選択できない。
生物 I (増加単位)	エリア指定科目の生物 I では学習時間が足りないのでさらにもう 2 単位増加し、生物 I の内容をすべてカバーする。理数・自然科学エリアの生徒で、エリア指定の生物 I を選択した者は、この科目を選択しなければならない。また、物理 I (増加単位)とは同時に選択できない。
物理 I (選択)	最新の科学技術を根底で支えているのが物理学である。物理 I では、日常身の回りにおける物理現象(運動とエネルギー、光と音など)を実験や理論を通して学ぶ。自然の中に潜む法則性を探る中で、論理的な考え方を身につける。実習や問題演習も行い、自然科学的な考え方を身につける。生物 I とは同時に取れない。
生物 I (選択)	生物 I では、生物や生物現象に見られる細胞、生殖、遺伝、環境と動植物の反応などの共通の特性を学び、生命について考える。また実習や問題演習も行い、自然科学的な考え方を身につける。物理 I とは同時に取れない。

保健体育

ライフ スポーツ	誰もが親しめるスポーツを取り上げ、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力を養う。実習費が必要。
競技 スポーツ I	各種目を通して自己に適した目標を定める。 運動の特性を理解し、集団的技能・個人的技能の向上を図る。 また、スポーツマンの公正な態度を養う。実習費が必要。

芸術

音楽 II	歌唱、器楽、鑑賞の各領域について音楽の内容を発展させ、深める。また読譜力を身につけ豊かな表現と積極的に音楽を楽しむ姿勢を養う。音楽 I 選択者に限る。
美術 II	作品制作を通して表現することの楽しさを感じ、イメージしたものを形にしていく技術を養う。美術 I 選択者に限る。実習費が必要。
書道 II	歴史的な書体(篆書・隸書)を学ぶことによって、文字に対する興味・関心を高め、表現する喜びを体験する。書道 I をさらに発展させる。書道 I 選択者に限る。実習費が必要。
ソルフェージュ	音楽理論の基本的な知識を学び、読譜力・音感・リズム感を養う。また歌唱、鍵盤楽器の基礎を学び、表現活動に生かす。音楽セクション、保育セクションのものに限る。
素描	絵画の基本であり、土台となるスケッチやデザインを通して対象物を見る力、描く力を養う。実習費が必要。美術セクションのものに限る。
書造形	住所名前印や木彫り作品の制作をはじめ、いろいろな用具・用材を使って、パネル作品制作を行う。実習費が必要。書道セクションのものに限る。

外国語

実用英語	基本的な英会話表現・実践的コミュニケーション能力の習熟を図り、英検 3 級、準 2 級合格を目指す。ライティング・リーディング・リスニング・スピーキングの 4 領域のバランスの取れた英語力を養う。
英文法	英語を学んでいく上で、身に付けておかなければならない基本的な文法事項を再確認し、確実な定着をはかり、さらにもう一段階進んだ大学入試にも対応できる文法知識を習得する。

情報

マルチメディア表現	静止画・動画・音楽などをコンピュータ上ではどう扱うか。そのしくみを理論的に理解する。また、これらの理論的な設計と表現活動を実際に行う。共同制作により、作品づくりを行う。絵や音楽に興味があるとともに緻密な思考ができる人に向いている。
------------------	---

福祉

社会福祉基礎	社会福祉について、歴史的な変遷から現在まで、広く基礎的な事柄について学習する。また、福祉や医療の課題についても考える。保育福祉エリア以外の人で、福祉関係の進学や就職を考えている人向きです。
---------------	--

文化と表現

プレゼンテーション入門	レクリエーションやロールプレイング、課題解決型グループワーク等を通して、コミュニケーション能力や自己表現力を養う。
--------------------	---



3 3年次での自由選択科目



国語

国語表現 I	「書く」「読む」「聞く」「話す」の実践を通して自己を表現する力をつける。推薦入試等の小論文入試にも対応できる課題に取り組む。時間毎の課題提出と定期考査で評価する。進路上、小論文を必要と刷るものが対象。
古典	2年次に学んだ古典の内容をさらに深め、多様な古文を読むことにより、古典文学の世界に親しみ、日本文化の理解を深める。2年次に古典を選択した者に限る。
古典講読	1, 2年で学んだ古典の学習をさらに深めていく。様々なジャンルの作品に数多く接することにより、読解力を養い、入試にも対応できる力をつける。入試で古典が必要なもの及び古典が好きなものが対象。
国語読解力演習	評論文・小説などを熟読し、文章の読解力を養うとともに豊かな表現力を身に付ける。問題演習を行い、進路実現のための国語の総合的な力を養う。すべてのエリア、進路希望の生徒が対象。
漢文の世界	「論語」や「史記」などの作品を中心に、漢文の面白さを味わうとともに、その歴史的背景や文化等についても学び、漢文の世界への理解を深め、中国文化について学習する。

地理歴史

世界史 B	世界の歴史的流れを、わが国の歴史と関連づけながら理解し、現代社会の諸課題に対応しうる歴史的思考力を養う。3年だけで4単位。2年の共通履修科目で世界史Aは履修している。
日本史 B	日本の歴史的背景と地域的特色を理解する。日本の歴史について、原始から現代までの政治史を中心にした通史を学ぶ。必修科目の日本史Bを選択した人は必ず選択すること。
地理 B	2年で学習する地理Aの内容をふまえ、より高度な内容を学ぶ。
日本史演習	問題演習を中心に入試に対応した学習をおこなう。日本史Bの選択者に限る。
世界史演習	演習問題を中心に入試に対応した学習をおこなう。世界史Bの選択者に限る。

公民

政治・経済	国内を中心に、政治及び経済の各分野の学習を通じて現代社会の基礎的な内容について理解を深める。
時事社会	政治経済の内容をふまえ、より高度な内容を学ぶ。政治経済の選択者に限る。

数学

数学Ⅱ (増加単位)	2年生全員が学習する範囲以外の残りの内容を勉強する。必修科目の数学Ⅱ（2単位）に加えて、数学Ⅱは全部で4単位になる。これにより数学Ⅱの内容をすべて終了する。
数学Ⅲ	2年次に数学Ⅱ（4単位）履修した者に限る。理数・自然科学エリアの生徒はエリア指定科目の数学Ⅲとあわせて4単位となり、数列・関数の極限、微分積分の全範囲をカバーする。理数・自然科学エリア以外の生徒は、数学Ⅲの半分しか学習できないので、受験には対応していない。
数学C	行列と2次曲線（放物線、楕円、双曲線など）を学ぶ。理数・自然科学エリア以外の生徒で興味のあるものは選択すること。
数学Ⅲ演習	数学Ⅲの問題演習に取り組み、総合的解法の力を身に付ける。また、進路実現に対応する力を養う。理数・自然科学エリアの生徒に限る。
数学演習α	問題演習を通じて、「数学Ⅰ」「数学A」の学習内容を基礎から確認し定着をはかる。さらに、標準的な問題を確実に解ける力を身につける。理数・自然科学エリアの者はこの科目か演習βのどちらかを選ぶこと。看護系、工業系、の専門学校および文系で数学を受験科目とするものは選択すること。
数学演習β	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」の学習内容を確認し、標準的な問題を確実に解ける力を養う。2年次に数学Ⅱ（4単位）、数学Bを学習したことを前提として授業を行う。理工系大学等、受験で数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bが必要な者は選択すること。理数・自然科学エリアの生徒はこの科目か演習αのどちらかを選ぶこと。

理科

物理Ⅱ	「物理Ⅰ」を履修したものに限る。放物運動・円運動・単振動・電磁気・熱・原子などの基本的な概念や原理・法則の理解を深め、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探求する能力と態度を養う。理数自然科学エリア・情報エリアでは2年次の物理Ⅰ（4単位）とあわせて、物理Ⅰ・Ⅱの合計が6単位となり、理系4年制大学の受験に対応できる。ただし一部自習が必要。難関私立大学（関関同立）の一部の工学系は受験に必須であるため、4年制大学の工学部を目指す者は履修が望ましい。他エリアでは興味関心や進学後の備え（工学系）で選択することができるが、理系大学受験レベルでの授業となる。
化学Ⅱ	2年次に学習した「化学Ⅰ」との関連を図りながら、さらにその内容を深めていく。物質のミクロな構造や、結合の本質を学び、化学の様々な分野の関連について理解を深める。理数自然科学エリアでは2年次の化学Ⅰ（3単位）、エリア指定の環境科学（2単位）とあわせて、科学分野が7単位となり、理系4年制大学の受験に対応できる。ただし一部自習が必要。他エリアでは興味関心や進学後の備え（医・歯・薬・農学系）で選択することができるが、理系大学受験レベルでの授業となる。
生物Ⅰ	1年次に学習した「理科総合Bの生物分野」との関連を図りながら、さらにその内容を深めていく。遺伝の規則性、環境と動物の反応、環境と植物の反応などの生物現象を取り扱う。看護、理学療法などの進学に備えたい。2年次に生物Ⅰを履修した者は選択できない。

生物Ⅱ	「生物Ⅰ」を履修したものに限り、「生物Ⅰ」の学習を基礎にさらに進んだ生物現象(遺伝情報とその発現、同化と異化、生物の集団など)を取り扱う。理数自然科学エリアでは2年次の生物Ⅰ(4単位)とあわせて、生物Ⅰ・Ⅱの合計が6単位となり、理系4年制大学の受験に対応できる。ただし一部自習が必要。他エリアでは興味関心や進学後の備え(医・歯・薬・農学系)で選択することができるが、理系大学受験レベルでの授業となる。
環境科学	私たち人間が住む地球全体で、今起こっている環境問題について理解し、世界的な視野にたつてこの問題を考えてみる。また、私たちの住む地域の身近な環境問題に注目し、自分たちの生活と環境との関わりを理解する。また、レポート作成やプレゼンテーションを通して、自分で調べたことや考察を表現する力も身につける。理数自然科学エリアのエリア指定科目と重複履修できない。
実習理科	自然現象や科学技術などを実験や観察などを通して学ぶ。また、実験・観察に関するレポートをきっちり作成することによって科学的な見方や考え方を養う。ただし、物理Ⅱ、化学Ⅱ、生物Ⅱのいずれか1つ以上を履修すること。

保健体育

ライフスポーツ	2年次に履修したものは重複履修できない。 誰もが親しめるスポーツを取り上げ、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力を養う。実習費が必要。
幼児体育	子どもにとっての遊びの重要性について理解を深め、リズム体操やボール運動など子どもの健全な成長を図る運動を実践する。 選択者は、将来幼児教育初等教育に携わるものとする。
スポーツ理論とトレーニング	運動を合理的・効果的に実施するためのスポーツ理論を学び、実践力を身につける。また、各種トレーニング方法を学び、基礎体力の充実を図り、競技力の向上に役立てる。実習費が必要。

芸術

アンサンブル	管楽器や打楽器など、様々な楽器による重奏や声楽による重唱を通して、音楽に関する自己表現力をより高めるとともに、協調性を養う。
音楽鑑賞	日本の伝統音楽や諸外国の音楽を鑑賞し、それらの音楽文化の歴史や特徴などを学ぶとともに、音楽が生活の中で果たしてきた役割について学習する。音楽への興味や音楽に関する知識を深め、音楽への愛好心を育てる。
美術演習	美術という科目を芸術として幅広く捉え、スケッチからデザイン、美術史など総合的に学ぶ。また、それにもとづいて作品制作をし、より豊かな感性や表現力を養う。実習費が必要。
生活デザイン	普段の生活の中には合理的、あるいは造形的に優れたデザインが数多く存在することを理解し、その上で自らデザインする能力や、プレゼンテーションする能力を養う。実習費が必要。
実用書道	硬筆・小筆等の技術を身に付け、慶弔時の袋等の書き方や、手紙の書き方、履歴書の書き方など、実生活に役立つ書の技術を養う。(ひらがな～漢字) 実習費が必要。
幼児芸術	保育士・幼稚園教員・小学校教員等をめざす生徒が、幼児や児童に対する美術や音楽の指導法を学び、その実践力を養う。実習費が必要。

外国語

ライティング	これまで学習してきた文法事項や単語・熟語の知識を活用して英語で文を書いてみる。身近なことを英語で表現することからスタートし、入試問題レベルの練習問題へと進んでいく。
言語理解	日常生活にかかわる英語表現を反復練習し、それを活用する能力を育てる。また、英語を使う際に知っておきたい基礎知識（英語での数字の読み方、符号のつけ方等）を学習させる。
英語文化研究	英米の歴史や文化を学び、英語の文化的背景を知ることによって英語に対する興味・関心をより一層高める。また、英字新聞等により、現在世界で起こっている事柄を知り、その背景について考察する。
Speaking	短い対話文・スピーチ・映画などを通して、簡潔によく使われる洗練された英語表現を学び、様々な話題に対して、自分の考えをまとめ、英語で積極的に発表する能力を育成する。
スクリーン英語	映画やテレビ番組などを教材として活用し、日常会話や場面に即した英語表現を学ぶ。併せて、背景となった国の歴史や文化、生活などについても理解を深める。
英語読解演習	1・2年に身に付けた基礎的事項（イディオム・熟語・基本構文等）を踏まえ、各事項の充実を図りつつ、難度の高い教材を用い、長文の読解力を養う。

情報

情報C	情報をデジタル化する意味、ネットワーク化する意味を考えていく。また、社会全体の情報化に対処する仕方、情報社会に生きる現実を考え、一般的な情報通信について学ぶ。教室での授業（座学）と実習を行う。
Web デザイン	まったくのゼロから Web ページ作成のための基本的な知識及び技術が身につくように指導する。基本的な知識と技術を修得したあと、様々なツールの利用を利用して個性的な作品づくりをめざす。また Web ページを閲覧する側から見た Web ページの必要要件についても考察する。実習で作成した各人の作品を Web サイトに発表し、相互評価するなど実践的な力を身につける。
プログラミング入門	簡単なプログラム言語を用いて、手続き型プログラミングの根底にある if 文や、ループ文などの概念をつかむことに重点を置く。
マルチメディア表現	静止画・動画・音楽などをコンピュータ上ではどう扱うか。しくみを理論的に理解する。また、これらの理論的な設計と表現活動を実際に行う。共同制作により、作品づくりを行う。絵や音楽に興味があると同時に緻密な思考ができる人に向いている。2年次に履修したものは重複履修できない。



家庭

発達と保育	家庭基礎で学んだ保育分野を発展させ、乳幼児の発育・発達を理解し、生活・遊びの大切さを学習します。実際に幼稚園や保育所を訪問し子どもたちとのふれあいを通して保育の楽しさを体験しましょう。実習費が必要です。
フードデザイン	食品の安全性や食品を扱う場合の衛生上の注意点を理解し季節や行事に合わせた献立、調理、テーブルコーディネートについて学習します。また、食生活を総合的に考え、賢い消費者とは何かを考える態度を養うことを目指します。実習費が必要です。
栄養	栄養素の機能と代謝、ライフステージ・スポーツ・病気と栄養に関する知識を中心に学習し、栄養計算や献立作成をします。健康の保持・増進を図る態度を養います。将来、栄養士になりたいと考えている人向きです。実習費が必要です。

福祉

社会福祉援助技術	対人援助の方法や過程、コミュニケーションの方法や実際について具体的に学び、援助者としての姿勢や技術を身につける。
社会福祉実習	社会福祉施設の訪問見学や、利用者との交流、施設職員による講話などの体験的な学習を通して、実践的な知識・技術の習得を目指す。社会福祉施設の概要や提供されるサービスなどについても理解を深める。
社会福祉演習	課題研究や、事例研究を通して、専門的な知識を深め、問題解決能力を養う。

文化と表現

ハングル入門	韓国・朝鮮語を基礎から学び、簡単な日常会話が行える程度の習得をめざす。留学生等との交流を通して、日本とのつながりの深い韓国・朝鮮の文化や習慣を理解する。
中国語入門	中国語を基礎から学び、簡単な日常会話が行える程度の習得をめざす。留学生等との交流を通して、日本とのつながりの深い中国の文化や習慣を理解する。
プレゼンテーション入門	2年次に履修したものは重複履修できない。レクリエーションやロールプレイング、課題解決型グループワーク等を通して、コミュニケーション能力や自己表現力を養う。



4 3年次での必修科目の選択



日本史B	日本の歴史的背景と地域的特色を理解する。日本の歴史について、原始から現代までの政治史を中心にした通史を学ぶ。必修科目の日本史Bを選択した人は必ず選択すること。
数学C	行列と2次曲線（放物線、楕円、双曲線など）を学ぶ。理数・自然科学エリアの生徒で数学Cを選択する者は、自由選択科目ではなく、この数学Cを選択すること。

5 3年次での選択7限の科目選択



選択7限の科目は以下の3科目があり、いずれも1単位である。希望者は、追加の科目として選択することになる。

国語特別演習	進学に向けて、実戦的な問題演習を行う。
数学特別演習	高校数学を総合的に扱う。理数・自然科学エリアの生徒で、数学演習βを選択した者に限る。
英語特別演習	入試に向けて、長文の読解をする。パラグラフリーディングを進める。



